「東京学芸大学「自主ゼミ」の意義と実態」を発行しました

大石 学先生の書かれた「東京学芸大学「自主ゼミ」の意義と実態」を図書館かわらばん特別号として発行しました。附属図書館が昨年行ったアンケートに寄せて、本学の特徴的な学びの文化である「自主ゼミ」を、その歴史の始まりから、ご自身の経験を背景にしつつ豊富な資料で論考され、図書館への期待を寄せられています。

本学学生にぜひ手に取ってほしいものですので、どうぞお目通しください。館内ラーニングコモンズ入口で配布のほか、図書館ウェブサイトやリポジトリにも掲載しています。

図書館かわらばん特別号 (2018年夏)

東京学芸大学「自主ゼミ」の意義と実態

一附属図書館「自主ゼミ等」アンケート調査によせて-

大石 学(本学教授(歴史学分野) /前・附属図書館長)



日本新生史ゼミと新書 (「大学案内 2012」(東京学芸大学) より

附属小金井中から職場体験学習受け入れ

7月中旬の3日間、附属小金井中学校の職場体験学習に協力し生徒を受け入れました。カウンターでの貸出・返却、返却図書を書架に戻す作業、蔵書印の押印やラベル貼り、図書の簡単な修理、コンピュータの清掃など、多様な仕事を体験しました。職員との懇談で

は、「本が借り られるようにな るまでに、さま ざまな努力があ ることがわかっ た」との感想を いただきました。



カウンター業務体験



返却図書を書架へ戻す作業

図書館かわらばん No.10 2018年秋 東京学芸大学附属図書館